

# 教えるを学ぶ: エッセンス

教える機会は看護職の身近にあふれている。個の成長からチームの発展まで、学びをもたらす範囲も広い。学習者の能動的な学びを促す教え方を、どう磨けばよいのか。成人の学習を支援するための「学びほぐし」のエッセンスを、教育開発者 (educational developer) が紹介します。

杉森 公一  
北陸大学高等教育推進センター長・教授

第12回 (最終回) リフレクションでエデュケーションをとらえ直す

### 今回のポイント

- ✓ リフレクションを行う際は、教育者・対象者の行動だけでなく、思考、感情、望みにも焦点を当てよう。
- ✓ 教育者が実践と省察を往復することで、深層に埋もれていた望みが浮かび上がってくる。

「教育の文字ははなはだ穏当ならず、よろしくこれを発育と称すべきなり」<sup>1)</sup>。福沢諭吉が「文明教育論」の中でエデュケーションの誤訳に異議の主張をしたのは、産業化と国民形成(註)の要請を受けて近代学校制度が開始された時期であった。その後、日本は工業社会への転換を果たし、個別知識を「学力」として獲得(記憶)させることを学校教育の一つの命題としてきた。2020年代に入って私たちが直面しているのは、先の見通せない VUCA [Volatility (変動性), Uncertainty (不確実性), Complexity (複雑性), Ambiguity (曖昧性)] の状況である。特定の知識を持ち、技術を熟達させることだけでは、こうした社会情勢の変化に対応することは難しく、より高次の知識を統合し、スキルを柔軟に学び直していく姿勢が求められるようになった。

### 知識反応の時代への転換に対応する

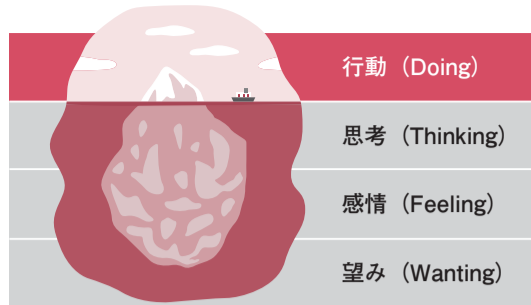
テクノロジーの革新は、私たちの社会と学校を大きく揺るがそうとしている。OpenAI 社によって発表された生成的 AI 「ChatGPT」は、生成する文章の完成度の高さから、米スタンフォー

ド大学の学生ですら最終試験に使用するようになったという<sup>2)</sup>。医療の高度化への対応、タスクシフト/シェア、多職種連携など、医療現場の変化は目まぐるしいことから、技術的合理性モデルではそうした変化に即応できない可能性がある。したがって、状況に応じて想定を超えた対応をする中での「行為の中の省察(リフレクション・イン・アクション)」が求められている<sup>3)</sup>。

知識の再生産の時代から、あらゆる知識を統合させ、活用し、生み出していく知識反応の時代への転換点にわれわれは立っているのである。学習者の役割は知識の受け手から生涯学び続ける者 (Life-long Active Learner) へと変化し、教育者は学習者の能力開発を支えることで、そうした役割の変化を担うことになる。教育者にとって、これまで意識されてこなかった教育理念を含む「リフレクション」を行うには何を意識すればよいのだろうか。

### リフレクションの冰山モデル

教師教育学のコルトハーヘンは、教育者がリフレクションを行う時に、客観的に見えやすい行動 (Doing) にのみ焦点を当ててしまいがちである、と警鐘を鳴らす<sup>4)</sup>。リフレクションは行動 (Doing) を水面の上に、水面の下に思考 (Thinking)、感情 (Feeling)、望み (Wanting) を順に配置した「冰山モデル」によって、言語や表情を通してもとらえることのできない深層をすくい取ろうとするアプローチである(図)<sup>4)</sup>。自分自身で問いかけたり、同僚と共に相互に振り返ったりする[連載 11 回]での FLC (Faculty Learning



● 図 リフレクションの冰山モデル (文献 4 をもとに作成)  
リフレクションにおいては教育者や対象者の行動だけでなく、その下に存在する思考、感情、望みに着目することが重要となる。

Community) など] 機会を意識的に設けることが大切である。

筆者は 2020 年から 3 年間、理学療法・作業療法を専攻する大学院生を対象にした「教育方法論」(2 単位, 15 週)を担当している。2018 年 10 月に公布された「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」によって、専門学校や大学等で教えることのできる専任教員の要件が 17 単位 (360 時間) 以上の専任教員養成講習会を受講するか、または大学院の課程で教育学に関する科目を 4 単位以上修めることが求められたために開講された科目である。本連載で取り上げたトピックを網羅し、教育方法の理論から授業設計の実際までを、シラバス作成と模擬授業を通して体験的に学ぶ。最終週にはリフレクションのために、教育活動を記述し省察する記録「ティーチング・ポートフォリオ」<sup>5)</sup>の一部である「理念(教育上の抱負)」を言語化して作成する。「理念」とは、教育活動における自分の行動原理となる重要な信念や姿勢のことであり、どのような学生を育てたいか、大学教員としてどうありたいかについて、単なる事実の列挙ではなくリフレクションに基づいた活動の俯瞰と考察を行う<sup>6)</sup>。

### 「書かれていないルール」を意識しよう

看護師を含む医療職の養成に当たっては、普段意識されていない「書かれていないルール (Unwritten rule)」<sup>6)</sup>がある。教育者がなぜ教えるのかという理念を省察し、実践と往復することを通して、教員と学生(あるいは実習指導者と実習生)が、どのように学んだのか、なぜ学ぶのかを言語化し「理念」に立ち返ることで、深層に埋もれていた「望み」が浮かび上がってくるだろう。本連載でみてきた、教育技法、評

価方法、学習環境と共同体の整え方のエッセンスが、エデュケーションの本来の意味と実践を振り返る観点となるかもしれない。

\*  
センゲらは、教員が自身の教育内容と行為を振り返るために「学校教育の目的は何なのかを問い続けているか、それとも学校教育の手段だけを問い続けているのか」の違いを問います<sup>7)</sup>。教育の目的や前提を疑うことは、アイデンティティが揺るがされる苦しみを伴うかもしれません。適切な学修支援のためには「私たちは何のためにここにいるのか?」と、教育や人材育成にかかわる者の役割を問い直すことが求められます。「教えるを学ぶ」ことで、社会を形成していくことができる自律的な学習者を支えていく営み(発育、そして能力開発)とは何かを一緒に考えていきましょう。

註: 日本国民としてのアイデンティティや連帯感を形成すること。明治政府が中心となって学校教育制度が整備され、読み書き能力やスキル向上のために画一化された教育がなされた。

参考文献・URL  
1) 田中萬年. 教育と学校をめぐる三大誤解. 学文社; 2006.  
2) The Stanford Daily. Scores of Stanford students used ChatGPT on final exams, survey suggests. 2023. <https://onl.bz/sAJNzen>  
3) DA. ショーン (著), 柳沢昌一, 他 (訳). 省察の実践とは何か——プロフェッショナルの行為と思考. 鳳書房; 2007.  
4) 学び続ける教育者のための協会 (編). リフレクション入門. 学文社; 2019.  
5) 栗田佳代子. 教育の質を問うティーチング・ポートフォリオをあらためて俯瞰する. 看教. 2017; 58 (11): 886-91.  
6) Winkelmess MA, et al. Transparent Design in Higher Education Teaching and Leadership. Stylus; 2019.  
7) PM. センゲ, 他 (著), リヒテルズ直子 (訳). 学習する学校. 英治出版; 2014.

## 全国の先生方と共に、看護教育のさらなる可能性を追求しませんか

**動画**

教育の基本や成人学習理論、カリキュラム編成のポイント、学生対応の困りごと、また海外で活躍される看護師、看護理論家のインタビューなど、役立つ動画コンテンツを多数ご用意しています。

看護教員のための  
**オンラインプラットフォーム**

**NEO** Nursing Education Online

**セミナー**

グループワークやリアルタイムアンケート、ディスカッションなどを用いた、参加型セミナーを開催します。

**記事**

講義・演習・実習の工夫や教材の開発、地域との連携など、各教育機関での実践をお届けします。

ICT を活用した看護教員の  
継続的な学びの場を提供します。

**無料版、すぐにご利用いただけます!**

最新のセミナーなどのコンテンツ情報や価格に関しては web サイトをご確認ください

**フォーラム**

NEOのコンテンツをはじめ、さまざまなトピックについて全国の先生方と意見交換いただけます。

価格(税抜)

看護系大学	25万円/年
看護専門学校	10万円/年

● 大学は学部単位、専門学校は施設単位でのご契約となります。  
● ご契約施設の教職員の方であれば、何名様でもご利用が可能です。

**医学書院**

無料トライアル・ご契約に関するお問い合わせ

【販売・PR部】TEL:03-3817-5661 FAX:03-3815-7013  
E-mail:sp@igaku-shoin.co.jp

内容や使用方法に関するお問い合わせ

【看護出版部】TEL:03-3817-5776 FAX:03-3815-0485  
E-mail:neo@igaku-shoin.co.jp